opusdei.org

ハビエル・エチェバ リーア司教は手術 後、順調に回復して います。

オプス・デイ属人区長エチェバリーア司教は、11月10日、腰椎の手術を受けました。ナバラ大学付属病院で行われた手術は5時間をようしました。

2015/11/17

医師の報告によると、「特別な問題 はなく、手術は予定通り行われまし た」。施術内容は「脊柱管の狭窄による腰椎の減圧と、脊椎骨の仙骨との固定」で、医師の指示に従って、エチェバリーア司教は、10日間の次の後、数週間パンプローナに不力にの後、数週間パンプローナに不力にある場合ではあります。2人はガリス神父が同行しています。2人はが出る頃、ローマに戻る予定です。

今回の手術に際し、手紙や本サイト への寄稿、さらにソーシャル・ネ のの寄稿、さらにソーシャル・多 のの寄稿、さらにソーシャル・多 ののではして届けられた多個人 に対して、 はいできなしてきないができる。 とができなしているのが、 といるのができないが、 といるのが、 とい

11月1日、属人区の信者に毎月送る 手紙の中で、「数日後、手術を受け るためナバラ大学病院に入院します。皆と固く一致しています。お祈りの力で私を支えてくれるよう望んでいます」と、今回の手術について知らせていました。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/javier-echevarria-kaifuku-shiteimasu/(2025/12/16)